



山正 LINE 公式アカウント友達募集中!

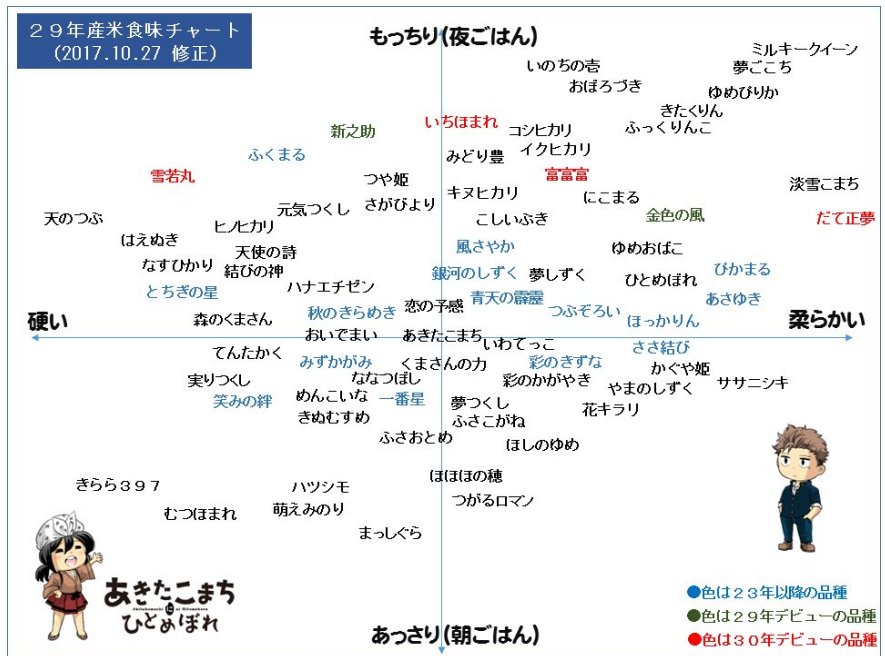
レイミーの AI 病害虫雑草診断アプリ



## §1 食味マップで美味しいお米の選択を!

今年も新米が出回る季節となりました。今年は、異常な暑さの影響で品質的には厳しい年でありました。それでも、最近のお米は、各地で様々な銘柄の品種が栽培され、日本全国では300種を超える品種があります。近年では、「お米の食味マップ」が公開されています。これは、米の銘柄ごとに、食感や味の特徴を図式化したもので、お米の選定の参考となりますので、ご紹介します。

日本各地で生産されるお米は、産地や品種により食感や味、香りに違いがあります。また、炊飯時の水による違いや水の量によっても炊き上がりが異なるため、さまざまなお米の違いを楽しむことができます。公表されているこのマップでは、「もっちり⇔あっさり」と「硬い⇔柔らかい」の二軸で分布されており、個人の好みの銘柄が一目でわかるようになっています。また、このマップに合わせて、各地の銘柄米に適するおかずも公表され、おかずの種類によって、お米の銘柄を変えて楽しむことができます。ぜひ皆さまも、地元のお米の消費も大切ですが、時には各地のさまざまな銘柄のお米を、それに適したおかずとともに召し上がることも挑戦してみてください。



都道府県	銘柄	銘柄にマッチする料理
北海道	ゆめぴりか	漬け丼
青森県	青天の霹靂	ステーキ
岩手県	銀河のしずく	豚の角煮
宮城県	だて正夢	豚の味噌漬
秋田県	あきたこまち	焼き鮭
山形県	雪若丸	カレーライス
福島県	福、笑い	和風ハンバーグ
茨城県	ふくまる	牛丼
栃木県	とちぎの星	かつ丼
群馬県	利根きらり	餃子
埼玉県	彩のきずな	とんかつ
千葉県	粒すけ	天丼
神奈川県	はるみ	アクアパツツア
長野県	風さやか	鯖の味噌煮
新潟県	新之助	塩おにぎり
富山県	富富富	しょうが焼き
石川県	ひやくまん穀	ブリの照り焼き
岐阜県	美濃ハツシモ	手巻き寿司
静岡県	静岡そだち	かき揚げ
愛知県	愛ひとつぶ (なつきらり)	デミグラスハンバーグ
三重県	結びの神	お刺身

都道府県	銘柄	銘柄にマッチする料理
福井県	いちほまれ	筑前煮
滋賀県	みずかがみ	白身魚のホイル焼き
京都府	京式部	鯛の煮つけ
兵庫県	ひのひかり	五目炊き込みご飯
奈良県	ひのひかり	チキンのクリームシチュー
和歌山県	きぬむすめ	茄子味噌
鳥取県	星空舞	鶏の照り焼き
島根県	きぬむすめ	コロッケ
岡山県	きぬむすめ	鶏のから揚げ
広島県	あきろまん	ロールキャベツ
山口県	恋の予感	鮭のちゃんちゃん焼き
徳島県	あきさかり	肉豆腐
香川県	おいでまい	すき焼き
愛媛県	にこまる	肉じゃが
高知県	よさ恋美人	塩レモン唐揚げ
福岡県	めし丸元気つくし	肉巻き
佐賀県	さがびより	鰻丼
長崎県	なつほのか	ビーフシチュー
熊本県	くまさんの輝き	西京焼き
大分県	ひのひかり	かつおのつけ丼
宮崎県	ひのひかり	チキン南蛮
鹿児島県	あきほなみ	焼肉

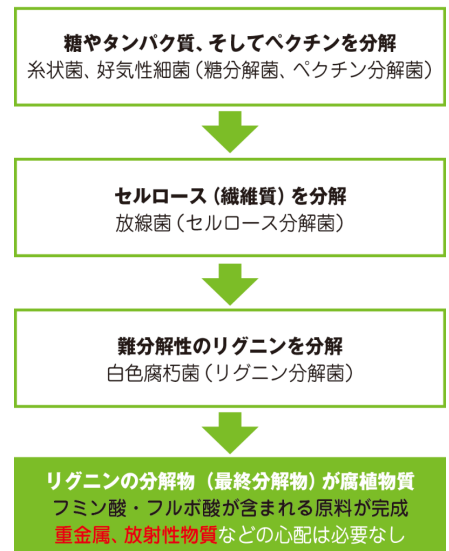
**お知らせ 飛驒農の会 開催日 令和5年11月15日(水)午前9時~午後2時30分**  
**開催場所 コンベンション・ミュージアム マウントエース 高山市問屋町 30 番地 88**

## §2 土壌中の腐植物質「フルボ酸」「フミン酸」について

今月は、近年話題となっているBS剤(バイオスティミュラント剤)の主要な製品の構成物質である「フルボ酸」「フミン酸」の腐植物質についてご紹介します。

土壌中の腐植物質は、主に植物や動物などの生物遺骸が微生物により分解・代謝・集積・重合されて生成する暗色の高分子有機物で、植物の最終分解物で、植物の栄養の取り込みを良くする働きが期待されます。その製造過程は、第一段階として分解しやすい糖やアミノ酸、デンプンを糸状菌や好気性細菌が分解します。第二段階では、植物の細胞壁成分のペクチンの分解が始まり、それに伴い放線菌が増殖すると、食物繊維のヘミロースやセルロースを分解し、最終段階で木質素のリグニンの分解が始まります。リグニンが分解されると、最終分解物であるフミン酸やフルボ酸が生成されます。その最終分解物(これ以上分解されることなく安定した状態を長く保つ物質)である腐植物質の構造は、由来となる生物、生成過程等により様々で特定の構造を持っていません。そのため、便宜的に、酸、アルカリへの溶解度の違いで次の3つのグループに分類されています。

### 植物によるフミン酸・フルボ酸の生成プロセス



グループ	特性	分子量
ヒューミン	酸、アルカリ両方に溶けないもの	大きい: 100000-10000000
フミン酸	アルカリにのみ溶けるもの	中くらい: 10000-100000
フルボ酸	酸、アルカリ両方に溶けるもの	小さい: 1000-10000

### 「フミン酸」「フルボ酸」の機能

- キレート力: ミネラルや酸素、その他の栄養素を掴む力があります。体の大きなフミン酸はキレートした化合物(重金属)を体内に吸収させない働きをします。逆に、体の小さなフルボ酸は、ミネラルなどの栄養素を吸収させる働きをします。
- 保肥力を高め、肥効を増進します: 腐植物質は一般に負に電化しており、植物の養分となるミネラルなどの陽イオンを保持して、雨などで流れにくくします。また、アルミニウムイオンによるリン酸の不可給化を低減し、リン酸肥料の肥効を高めます。
- 土壌の緩衝能を高めます: 土壌のpHは植物の生育や周辺環境により常に変化していますが、腐植物質はpHの指標である水素イオンを捕まえたり、放出したりすることで、pHの急激な変化を緩和し、作物の生育環境を良好に保ちます。
- 土壌微生物相を多様化します: 腐植物質は有機物のため、土壌微生物の棲家やエサとして利用されます。土壌微生物相の多様化につながり、土壌中の生態系バランスを維持することで植物の健全な生育に寄与します。
- 土壌物理性を改善します: 腐植物質は土壌粒子同士をつなぐ働きがあり、団粒を形成する効果を有しています。土壌の団粒構造が発達すると多様なサイズの孔隙ができるため、透水性と保水性の両方の性質が改善されるとともに、土壌の通気性を改善されます。

山正推奨の「フミン酸」「フルボ酸」を含むBS剤は、LIDAシリーズのfullbodyになります。

